

- 1 日 時 令和6年1月26日（金）午後1時30分～3時30分
- 2 場 所 本校応接室及び第1体育館
- 3 出席者 森脇一郎（委員長）・野末幸洋・荘司哲・高木信哉・春名季和・山村行弘
（敬称略）
（校内） 大澤貢（校長）・加藤剛史（副校長）
竹内正明（教頭）・池谷悦男（事務長）

4 内 容

(1) 校長挨拶

近況報告

(2) 議事

ア 令和5年度学校経営報告書自己評価（暫定案）及び学校関係者評価について

・『「挨拶ができる」と答える生徒90%以上』との成果目標に対して、「私は学校や地域で挨拶ができています」と回答した生徒は94%で目標値を超えているにも関わらず、評価はBとしているが、A評価でも良いのではないかと。また、目標値を達成しているにも関わらず、評価を低くつけるのは、そもそも目標値の設定がおかしいのではないかと
→目標値を達成しているので、本来ならAをつけると思うのだが、先生方の感じ方としては、もっと挨拶ができるはずとの思いからBをつけたのだと思っている。目標値の設定および評価については、来年度に反映させていきたい。

・『「部活動が充実している」と答える生徒85%以上』との成果目標に対して、「私は部活動が楽しい」と回答した生徒は77%で目標値を下回っているが、評価はAとしている。
どうしてAとしたのか、その理由を教えてください。
→積極的に活動している生徒が多くおり、運動部、文化部において各種大会で上位に入賞しており、結果を残しているため、評価をAとした。

・楽しく活動しているが結果が出ていない部活、活発な部活とそうでない部活をどう評価するかと考えた場合、とても難しいと思っている。学校に与えられた環境で、やらされている活動ではなく、生徒が主体的に活動していく部活が、本来のあるべき姿ではないかと。
→学校経営計画、グラデュエーション・ポリシーと合わせた形で、部活の在り方を考えていきたい。

・授業中に大きなケガをした生徒ゼロに対して授業中の大きなケガはなかったとのことであるが、大きなケガに繋がりがねない事案に対しては、ぜひ検証をお願いしたい。

・生徒用アンケートにおいて、「私は始業時間を守っている。」との項目に対して、良く

当てはまると回答した生徒の割合が令和4年度では37%と少ない。社会人としては、時間を守るのは当たり前のことであるので、厳しい言い方になるが、ゆゆしき事態と考える。

→37%の数字以上に、生徒は、時間を守って行動していると感じている。1回でも遅刻をした場合に、良く当てはまると回答しなかった生徒もいると思われる。今後は、社会人としての常識として、しっかりと時間を守る意識づけを行っていく。

(3) 本校の近況

・部活動報告（新チーム以降の成果について）

(4) 産業マネジメント科生徒研究発表会（14:25～15:15）

(5) 連絡事項

ア 第4回会議「学校自己評価・関係者評価」 日程候補日
2月14日（木）